

公開文化講座

日本文化の再発見

歴史から見える伝統の暮らし 衣・食・住

「森と豊かな水、島国という環境が、平安時代以降に「わが国独自の文化」を育む暮らしの「和様、和風の魅力」を学びます。

平成26年5月22日(木)、「和様、和風文化」を学ぶに相応しい自然に囲まれた環境の下、豊中・服部緑地公園内の「日本民家集落博物館」をセミナー会場に、船本理事長の開講挨拶により、「日本文化の再発見」公開講座がキックオフしました。

開講式後、「弥生文化博物館 卑弥呼の館」を監修された「日本民家集落博物館」井藤 徹館長の特別講演で講座の幕を開けました。



理事長の開講式挨拶



日本民家集落博物館 井藤館長講演

講演には、和食文化を担当される猪熊講師も特別参加され、弥生時代を主体とした集落、文化のお話を受講生の皆さんは熱心に聞き入り、あっという間に時間が経ち午前の講義が終了しました。





飛び入り参加の猪熊先生



オリエンテーション風景

講義の後、オリエンテーションに引続き、自己紹介…ミシン縫製(男性)・バンドマン・有機栽培野菜づくり・ヘルパー有資格者・老人会会長・少年野球監督・手品師等々、多士済々の仲間が集合、これからは楽しい講座になること間違いなしと、心強い限りです。

午後は、同館の学芸員 小島氏の案内で民家集落…飛騨白川の合掌造り・摂津能勢の民家・日向椎葉の民家・信濃秋山の民家・大和十津川の民家・小豆島の農村歌舞伎舞台・南部の曲家等の重要文化財、有形文化財を見学、この民家内での「囲炉裏料理体験」実習授業に夢が膨らむ初日の講座でした。



民家集落の見学



日本民家集落博物館 井藤館長から、受講生全員に「大阪府立弥生文化博物館」、「大阪府立近つ飛鳥博物館」、「堺市博物館」の招待券をプレゼント頂きました。井藤館長ありがとうございました。

皆様のご支援、ご協力のおかげで順調にスタートが切れましたことと、厚くお礼申し上げます。受講生の皆様の期待に応え、当講座で学ぶ楽しさを味わって頂ける様、運営に尽力して参ります。引き続きご声援をお願い致します。

ONCC教務担当